

中央通り歩行者優先道路化事業

添付資料②

人にやさしい歩行者が中心のまちづくり



善光寺花回廊

●コンセプト

善光寺表参道として、車中心から歩行者にやさしい通りとし、まちなかの回遊性と活性化を高める。

●事業期間

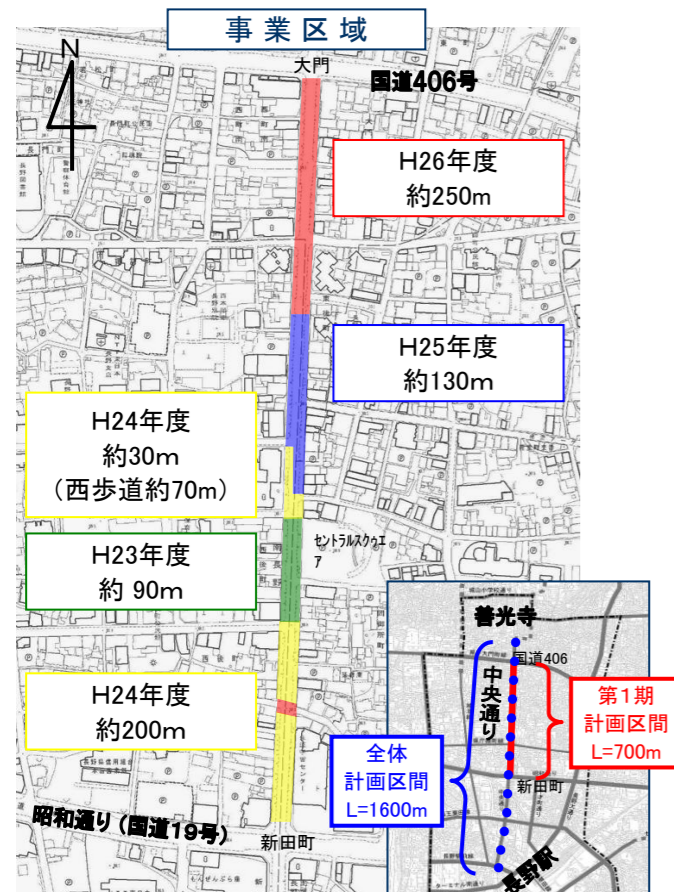
平成21年度から平成26年度

●総事業費

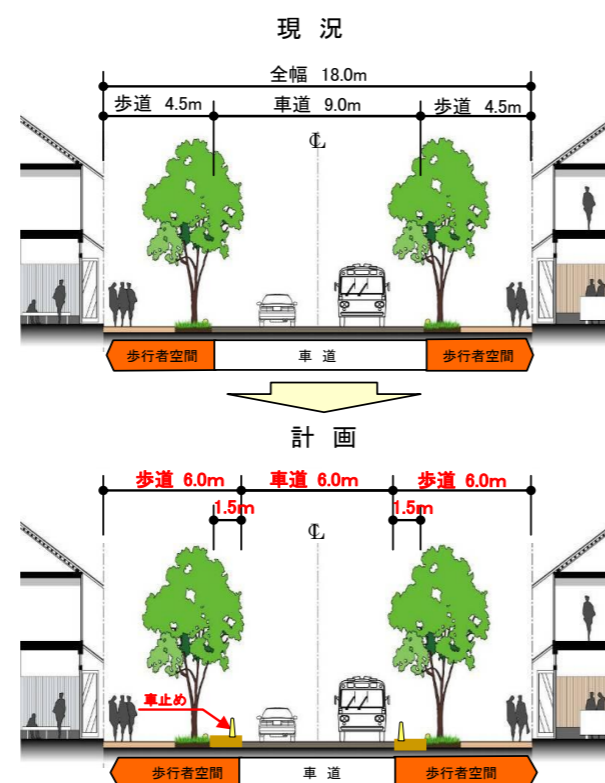
約 7.6億円

●事業内容

歩道の拡幅、歩車道の石畳化、施設の整備（ベンチなどの休憩スペースの設置）など



標準横断面

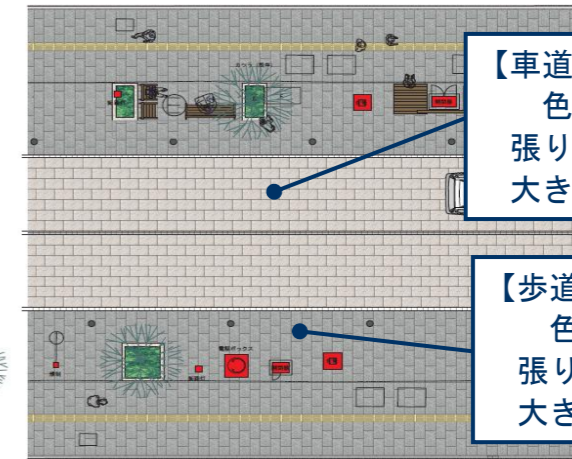
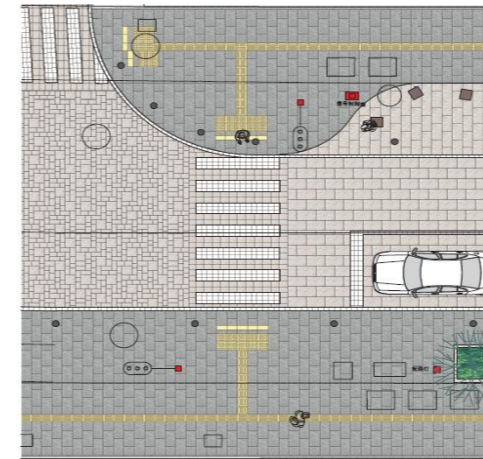


●デザインコンセプト

石畳を一本の時間道として
長野駅から善光寺へ 現代から古の仏都へ誘われる

善光寺表参道から受ける「和」のイメージを大切にし、中央通りを「善光寺へ導く一本の道」として捉え、参道の象徴である石畳により連続性のあるまちづくり、道づくりを行う。

舗装デザイン



【車道】御影石
色：桜色
張り方：縦張り
大きさ：400mm×700mm

【歩道】御影石
色：灰色
張り方：横張り
大きさ：640mm×365mm

●整備状況



整備前



整備後



↑石畳化され歩行者優先となった道路では、伝統的な屋台巡行などの祭りが復活した。



←↑歩道を拡幅し、ベンチ等を整備した道路では、来街者が憩う姿が見られる。